

始まりました！

旧名古屋市立保育短期大学などがあった平子町北地内市有地の今後について議論する「尾張旭市平子町北地内市有地利活用懇談会」の第1回が平成27年1月19日(月)に開催されました。

▼第1回懇談会が開催

平子町北地内市有地（以下、対象地）の利活用を考える第1回の懇談会が市役所講堂にて開催されました。

同懇談会は公募の方4名を含む12名により構成され、構成員の互選により内山構成員（名古屋産業大学教授）が座長に選出されました。初めに、同懇談会では個別具体的な施設について議論するのではなく、中長期的視点から対象地の大きな方向性について考えていくことなどを確認しました。

内山座長からは、暫定利用のこと、既存建物の取扱、対象地が市街化調整区域であること、予算の制約などが今後の論点となるという指摘に加え、尾張旭市民の中での対象地の認知度についても言及されました。

また相田構成員（岐阜県立国際園芸アカデミー准教授）からは、対象地の除草等の維持管理状況について質問があり、管理範囲が一部にとどまっている実情を踏まえた上で、市民の方にボランティアを募るといった提案もありました。



懇談会の様子

ほかに、「現状のセキュリティはどうなっているのか」、「建物だけではなく植物や生物の状態はどうか」等の質問がありました。

次回は、実際に対象地を歩いて見てまわることを予定しています。

▼ホームページにて公開しています

尾張旭市のホームページでは、「尾張旭市平子北地内市有地利活用懇談会」に関する情報を公開しています。

